

着衣着火 について - 西日本防災システム

参考news →

以前からこの**着衣着火**は注意喚起されているのですが、時折**着衣着火**が原因となる火災が発生し、お亡くなりになる火災事故が発生

していますので、まとめてみます。

良ーくご理解して頂いて、着衣着火やそれにもなう火災がなくなりますよう 願っております！

着衣着火

そもそも 今着ている衣服に火が付く事故が**着衣着火**といわれる事故なのですが・・・

自分が着ている衣服に火がつくなんて?? 考えられない!! と思っておられるかたは 大変多いと思います。

ですが こんな状況



こんな場面



こんなことも!



様々な場面を想定しますと・・・可能性はありますねー!

こんなことだって!



資料

総務省消防庁の統計によりますと、1年間で火災でお亡くなりになったのは1600人を超え、そのうち

7% 100人をこえるかたは **着衣着火**が直接の原因となりお亡くなりになっています。 平成25年度

特に注目すべきは、その中でも半数以上を占めているのが**高齢者**のかたということです。





着衣着火が発生するのは…

最も着衣着火が発生し易い状況は **料理中** です！ 特に **ガスコンロ** が要注意なんです！ コンロの火が直接着衣につく場合も多いのですが

コンロの近くのふきん にまず**着火**して その火が 衣服に **着火**！

グリルの油かす にまず**着火**して その火が 衣服に **着火**！



着火事例の多くは 「知らない間に いつのまにか **火がついていた**」 …です！

高齢者のかたに注意すべきは…

近年のお年寄りのかたはほんとお元気で、頼もしい限りです。ですがどんなにお元気そうに見えても、若い頃に比べその判断力は**低下**し、俊敏さも**衰え**を見せているはずで

これを申し上げると 「**やかましいわい！ 俺はまだまだ お前らには負けんわ！**」 と怒られそうなのですが、現実を受け止めてください！

加齢と共に目に老化も見られ、ますます判断能力に低下が生じます。

対策は？

- 1 化学繊維（レーヨンやポリエステル等）素材の衣服をなるべく避ける
- 2 袖口にふくらみ等のボリュームのある着衣は避ける
- 3 コンロの奥や周辺に良く使う調味料や台所用品、食器などを置かないようにする
- 4 防災加工が施されている着衣やアームカバー、その他着衣などを使用する

まず **着衣着火** のこと

着衣着火の怖さ を知ってください！

そこから始めましょう！

法の規制は？

現在消防法などによる着衣着火に係る法規制はありません



着衣着火について - 西日本防災システム

注意点のまとめ

参考: 低温やけど →

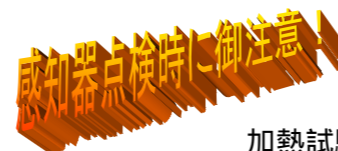
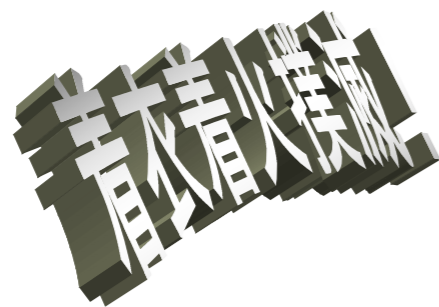
- 着衣着火という目に見える火にだけ注意が向けられる傾向がありますが、直火でない電気ストーブ、電気毛布などによるやけどにも充分注意が必要です。
- パジャマやネグリジェなどの寝衣はゆったり作られているものが多く、着火し易いので調理をする際は着用を避けること。
- 新しいガスレンジなどでは調理火口が複数ついていて、奥の火口に鍋をかける際、手前の使用中の火口によって着火する事例も多く見られます。 **手前を消して奥に！**
- 着衣のポケットなどに無造作に入っているマッチに着火する場合があります。不必要なマッチやライターを**入れておかない**ように。
- お年寄りや子供達には**防災性能**を持ったパジャマなどの衣類を御検討ください。
- 調理器具の更新をお考えでしたら、**電気調理器**も候補の1つに加えてください。

もし着衣に火がついたら

もし万が一着衣に火がついたら、決して走ったり室内のあちらこちらに**移動しない**でください。火災を拡大させる恐れがあります。

火がついている部分に**水**をかけてください。水道水、お風呂の水、ペットボトルのお茶、花瓶の水、ジュース、なんでもいいですから **とにかく消してください！**

万が一屋外で着衣に着火したら大声で**助けを呼び**ながら、地面を転がってください。そして火を**たたき落として**下さい。



同業者の皆さん！！

加熱試験器にベンジンを規定以上に入れ、着火したためあふれたベンジンが着衣につき着衣着火、壁に延焼・・・という事故が発生しました。

どうか 自動火災報知設備点検準備の際は特に注意を払い作業を進めてください！

